

## 経営課題2 生き抜く社会力を身につける教育と子育てしやすい環境づくり

### めざすべき将来像〈概ね10～20年間で念頭に設定〉

- 【教育】 子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができる状態
- 【子育て】 子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、安心して子育てができる状態

### 【戦略2-1】未来に向けた実践的な教育環境づくり

#### めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

- 学校・地域・区との連携により、子どもへの実践的なキャリア教育が進められている状態

めざすべき将来像：子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができる状態

## 【戦略2-1】未来に向けた実践的な教育環境づくり

### 主な業績目標

P

- i. 子どもが自分の将来に希望を持てるような教育が行われていると考える区民の割合：60%以上（撤退基準：50%以下）
- ii. 校庭を芝生化することで、子どもが地域社会とつながるなど実践的な教育に役立っていると感じる区民の割合：60%以上（撤退基準：50%以下）

### 主な取組内容

- 中学生が対象のキャリア教育講座：2校
- 小学生が対象の実社会に触れる取組：3校
- 区内在住高校生を対象とするインターンシップ事業：1回
- ネイティブスピーカーとの共同作業による英語劇の創作及び発表会の開催：年1回
- 校庭の芝生化・維持管理：2校

### 実績

D

- 2校
- 6校
- USJにて実施
- 開催  
(来場者約300名)
- 芝生化1校  
維持管理2校

## 中学生が対象の キャリア教育講座



## 小学生が対象の 実社会に触れる取組



## ネイティブスピーカー との共同作業による 英語劇の創作及び 発表会の開催



## 区内在住高校生を対象 とするインターシッ事業



## 校庭の芝生化

### 伝法小学校



めざすべき将来像：子どもが自分自身の未来に希望を持ち、生き抜く社会力を身につけることができる状態

## 【戦略2-1】未来に向けた実践的な教育環境づくり

### 評価

C

i 子どもが自分の将来に希望を持てるような教育が行われていると考える区民の割合

目標 結果

60%  
以上

29.2  
%

ii 校庭を芝生化することで、子どもが地域社会とつながるなど実践的な教育に役立っていると感じる区民の割合

目標 結果

60%  
以上

39.6  
%

- 撤退基準未達成であったため、**取組内容の充実や、取組内容の理解を深める方策が必要**である。また、校庭の芝生化については、効果があられるよう地域での取組が必要である。

### 28年度に反映した取組

A

- 概ね3～5年を念頭に小中学生にかかる望ましい基本的な生活習慣の確立と学力向上のための方策を策定、実施する。
- 平成28年度は保護者向けの講座を実施する。
- 芝生化された学校を地域が様々な取組に活用できるようPRなどの支援を行う。

めざすべき将来像：子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、安心して子育てができる状態

### 【戦略2-2】 地域ぐるみで子育てをするために

#### めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

- 子育て情報の入手が容易にできるとともに、地域における子育て支援の仕組みが適切に機能している状態



## 【戦略2-2】 地域ぐるみで子育てをするために

### 主な業績目標

P

子育て支援策が不安や負担感の軽減に役立っていると感じる区民の割合：60%以上（撤退基準：50%未満）

### 主な取組内容

- 主に乳幼児の子どもを育てる家庭に対する、ICTなどを活用した適切な支援、相談及び情報の提供（随時）
- 親子ともに知り合いになれる子育て応援イベントの開催：2回
- 地域における子育て応援人材の発掘
- 子育てボランティア養成の学習会：1回
- 子育て家庭に応じた保育等の子育て支援事業利用に係る相談（随時）(CM)

### 実績

D

- 随時実施  
情報誌「よっといで」  
毎月500部
- 2回
- 発掘を実施
- 開催（連続4回）
- 相談：288件

# 親子ともに知り合いになれる子育て応援イベントの開催



# 子育てボランティア養成の学習会



めざすべき将来像：子育てに関する地域、行政のネットワークが充実し、安心して子育てができる状態

## 【戦略2-2】地域ぐるみで子育てをするまちに

### 評価

C

子育て支援策が不安や負担感の軽減に役立っていると感じる区民の割合

目標

60%  
以上

結果

54.1  
%

- 業績目標の達成には至っていないため、今後、子育てについて悩みを持ちながらも**子育て支援につながらない世帯をどのようにして支援につなげることができるか**等の検討が必要である。

### 28年度に反映した取組

A

- 子育てに関する情報提供の充実
- 子育て支援ボランティア養成講座の開催回数を増やし、今以上に地域における子育て応援の担い手を確保する
- 子育て家庭に対する学習会の実施